

2023年 第31回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会 開催要綱

公益社団法人 日本武術太極拳連盟

開催趣旨：

- 1) 公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC) が実施する選手強化事業ジュニア対策の一環として、JOC 加盟競技団体が開催するジュニア競技大会の質的向上を図り、大会における優秀な選手を表彰するとともに、将来、オリンピック競技大会や世界選手権、アジア選手権等の国際大会において活躍が期待できるジュニア選手の発掘・養成を図る。
- 2) 大会の優秀選手 (男女各1人) に「JOCジュニアオリンピックカップ」を授与する。
- 3) 2023年の日本代表選手選抜については、アジア武術連盟より大会詳細の発表後に決定となる。

1. 日時： 2023年4月22・23日 (土・日) (4月21日 (金) 審判団ミーティング)
2. 会場： 大阪府熊取町・ひまわりドーム (熊取町立総合体育館)
3. 主催： 公益社団法人日本武術太極拳連盟
4. 主管： NPO法人大阪府武術太極拳連盟
5. 後援： 公益財団法人 日本オリンピック委員会 (JOC)、スポーツ庁、公益財団法人 日本スポーツ協会、(予定) 大阪府、熊取町、アジア武術連盟等
6. 協賛： 太極パートナーズ各社
(アシックス、ダイワコーポレーション、フォトクリエイト、島村運輸倉庫、太極サポーター、太極緑、太極拳ウェアYUN)

7. 選手出場要件：

- 1) 日本国籍を有する者、または日本国籍を有しない者で日本に継続して3年以上在留している外国人。
但し、日本国籍を有しない者は日本代表候補選手選抜の対象外とする。
- 2) 公益社団法人日本武術太極拳連盟加盟団体の会員であること。
- 3) 出場申込期限までに所定の出場申込手続きを行い、参加選手それぞれが4,000円 (非課税) の選手大会登録料 (※) と1種目につき2,000円 (税込) の出場料を納付すること。
「選手大会登録料 (登録料)」：各大会ごとに選手登録データ管理を行うため、毎年出場する大会ごとに納入いただきます。登録料については機材やシステム開発、運用等の大会運営費に充てられます。
- 4) 各種目の出生期間、年齢制限の条件を満たしていること。
- 5) 【国際第三套路、長拳B、初級長拳についてのエントリー制限】

<ブロック枠>

国際第三套路、国際第一套路 (長拳B)、初級套路の各種目はブロックごとに次の人数制限とする。

年齢区分	種目	南関東・近畿ブロック	その他のブロック
ジュニア国際規定競技A組	国際第三套路	男女計8人以内 (男女の比率自由)	男女計6人以内 (男女の比率自由)
ジュニア国際規定競技B組	国際第一套路 (長拳B)	男女各5人以内	男女各4人以内
ジュニア国際規定競技C組	初級套路	男女各4人以内	男女各3人以内

※なお、上記エントリーは、すべて各ブロックジュニア普及委員会が選考指定した選手に限る。

<日本連盟選手強化委員会枠>

2022年度の国際大会に日本代表選手として出場した選手の中で、日本連盟選手強化委員会が推薦した者はブロック選抜の人数とは関係なく出場権を得られる。

※区分が変わっても出場できる。但しA組の年齢枠を超えた場合は失効となる。

<シード選手枠>

2022年第30回大会該当種目の入賞者数に応じて決定されたシード選手はブロック選抜の人数とは関係なく出場権を得られる。

<大会縮小シード選手枠>

2022年大会縮小により実施されなかった種目A組（器械種目）B組（器械種目）C組（3種目）については、2019年第27回大会該当種目の入賞者数に応じて決定されたシード選手はブロック選抜の人数とは関係なく出場権を得られる。

※区分が変わっても出場できる。但しA組の年齢枠を超えた場合は失効となる。またシード権の譲渡は不可とする。シード権を得た種目での出場すること。同一拳種の中では徒手・短器械・長器械の最大3種目に出場することができる。種目（拳種）変更は不可とする。

注）シード選手枠、日本連盟選手強化委員会枠で出場する選手は、種目（拳種）変更不可。

例）長拳→南拳など他の種目（拳種）に変更することを不可とする。

<ジュニア国際年齢区分未定特別措置>

2023年に実施予定のアジアジュニア選手権の出場年齢枠が未定のため、今大会の出場年齢枠を拡大している。各ブロック大会選抜選手でA組・B組の両方、またはB組・C組の両方に該当する選手でアジアジュニア日本代表を目指す選手は、JOC大会エントリー申請時に区分の変更を認める。アジアジュニア選手権の日本代表選手は、年齢枠決定後、該当する年齢区分（組）から選抜する。

JOC大会エントリー申請時に変更可能選手は『2008年生まれ・2011年生まれ』とする。該当しない選手の変更は認めない。

例1）上位区分（組）変更

- ・2008年生まれの選手がブロック大会ではB組で出場し選抜選手となった場合、日本代表を狙う選手はアジアジュニア大会年齢枠に合わせ、JOCジュニアオリンピックカップ大会エントリー申請時にA組に変更可能
- ・2011年生まれの選手がブロック大会ではC組で出場し選抜選手となった場合、日本代表を狙う選手はアジアジュニア大会年齢枠に合わせ、JOCジュニアオリンピックカップ大会エントリー申請時にB組に変更可能

例2）下位区分（組）変更

- ・2008年生まれの選手がブロック大会ではA組で出場し選抜選手となった場合、日本代表を狙う選手はアジアジュニア大会の年齢枠に合わせ、JOCジュニアオリンピックカップ大会エントリー申請時にB組に変更可能
- ・2011年生まれの選手がブロック大会ではB組で出場し選抜選手となった場合、日本代表を狙う選手はアジアジュニア大会年齢枠に合わせ、JOCジュニアオリンピックカップ大会エントリー申請時にC組に変更可能

注意：区分変更により空いた枠にブロックで別の選手を補充することは不可

※現在の状況では、アジアジュニア大会は年齢枠が下がる（2008年生まればA組・2011年生まればB組）ことが予想される。但しJOCジュニアオリンピックカップ大会申請時（2023年1月まで）にアジアジュニアの年齢区分（枠）が決定しない場合があることをご了承いただきたい。

またB区分（B套路）の選手がA区分（第三套路）でエントリーする場合は、選手の安全性に関わる問題でもあるので、慎重に検討すること。

8. 競技種目と競技運営：次の20種目、男女計40種目の個人競技を実施する。

***国際大会の年齢枠が未定のため2023年31回大会は年齢枠を広げて実施する。**

No.	競技種目名	種目内容	出生期間・年齢・学籍	時間規定
ジュニア国際規定競技 A組=2005年1月1日～2008年12月31日の期間に出生した者				
1	太極拳	国際第三套路	出生期間は上記期間	3分以上4分以内
2	太極剣	国際第三套路	出生期間は同上（1.太極拳に出場する選手はエントリーすること）	3分以上4分以内
3	南拳	国際第三套路	出生期間は同上	1分10秒以上2分以内
4	南刀	国際第三套路	出生期間は同上（3.南拳に出場する選手は4.南刀にもエントリーすること。5.南棍は3種目目としてエントリーできるが、必須ではない）	1分10秒以上2分以内
5	南棍	国際第三套路		1分10秒以上2分以内
6	長拳	国際第三套路	出生期間は同上	1分10秒以上2分以内
7	長拳短器械	国際第三套路（剣術または刀術）	出生期間は同上（6.長拳に出場する選手は7.長拳短器械にもエントリーすること。8.長拳長器械は3種目目としてエントリーできるが、必須ではない）	1分10秒以上2分以内
8	長拳長器械	国際第三套路（棍術または槍術）		1分10秒以上2分以内
ジュニア国際規定競技 B組=2008年1月1日～2011年12月31日の期間に出生した者				
9	総合太極拳	国際規定套路	出生期間は上記期間	5分以上6分以内
10	42式太極剣	国際規定套路	出生期間は同上（9.総合太極拳に出場する選手に限りエントリー可）	3分以上4分以内
11	南拳（B組）	国際第一套路	出生期間は同上	1分10秒以上2分以内
12	南刀（B組）	国際第一套路	出生期間は同上（11.南拳に出場する選手に限りエントリーできる。南刀・南棍2種目、またはどちらか1種目でもよい）	1分10秒以上2分以内
13	南棍（B組）	国際第一套路		1分10秒以上2分以内
14	長拳（B組）	国際第一套路（長拳B）	出生期間は同上	1分10秒以上2分以内
15	長拳短器械（B組）	国際第一套路（剣術Bまたは刀術B）	出生期間は同上（14.長拳Bに出場する選手に限りエントリーできる。短器械・長器械2種目またはどちらか1種目でもよい）	1分10秒以上2分以内
16	長拳長器械（B組）	国際第一套路（棍術Bまたは槍術B）		1分10秒以上2分以内
ジュニア国際規定競技 C組=2011年1月1日～2016年12月31日の期間に出生した者				
17	初級長拳	国際初級套路 初級長拳の全套路	出生期間は上記期間	1分30秒以内
18	初級短器械	国際初級套路 （初級剣術または初級刀術）	出生期間は同上（17.初級長拳に出場する選手に限りエントリーできる。短器械・長器械2種目またはどちらか1種目でもよい）	1分30秒以内
19	初級長器械	国際初級套路 （初級棍術または初級槍術）		1分30秒以内
普及套路部門 A組、B組=2005年1月1日～2011年12月31日の期間に出生した者				
20	ジュニア太極拳3	日本連盟編纂の規定難度太極拳の全套路	出生期間は上記期間	2分30秒以上4分以内

注1. 1.～20.の競技種目のうち、どの種目を第1日と第2日に実施するかは、出場申込み締切り後に競技編成を行ったうえで、2023年2月中旬頃に出場団体宛に通知する。

注2. 国際大会の代表選抜について：今大会で「ジュニア国際武術選手権大会」の代表候補選手を選抜するかは、国際武術連盟の大会詳細の決定内容を受け、方針を決定する。

9. エントリー種目の制限：

	No.	競技種目名	エントリー制限事項
A 組	1	太極拳	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>2種目目として2.太極剣に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。</u> なお1.～8.の種目の套路規格は日本連盟発行のDVDに準じ、講習会等での配布テキストとの相違点はDVDを基準とする。
	2	太極剣	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>1.太極拳に必ずエントリーしなければならない。</u>
	3	南拳	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>2種目目として4.南刀に必ずエントリーしなければならない。また、3種目目として5.南棍にエントリーすることができる。※国際大会の日本代表を目指す選手は、3.南拳、4.南刀、5.南棍の3種目に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。</u>
	4	南刀	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>3.南拳に必ずエントリーしなければならない。</u>
	5	南棍	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>3.南拳、4.南刀に必ずエントリーしなければならない。</u>
	6	長拳	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>2種目目として7.長拳短器械に必ずエントリーしなければならない。また、3種目目として8.長拳長器械にエントリーすることができる。※国際大会の日本代表を目指す選手は、6.長拳、7.長拳短器械、8.長拳長器械の3種目に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。</u>
	7	長拳短器械	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>6.長拳に必ずエントリーしなければならない。</u>
	8	長拳長器械	・所属ブロックジュニア普及委員会の選考もしくはシードを経て、日本連盟選手強化委員会の認定を受けた選手が出場できる。または2022年度の国際大会日本代表選手で同選手強化委員会の推薦を受けた選手が出場できる。この種目に出場する選手は、 <u>6.長拳、7.長拳短器械に必ずエントリーしなければならない。</u>

【国際第三套路の「太極拳・南拳・長拳」の各種目へのエントリーについて】

難度動作を含む国際大会種目であることに鑑み、日本連盟選手強化委員会および審判委員会で取り決めた別紙「国際第三套路種目エントリー申請書」と「第三套路難度動作確認表」、「出場申込書」「確認用動画」を併せて1月20日（金）までに日本連盟へ提出しなければならない。これは、選手の安全確保・国際大会出場基準・大会運営方法等を検討した措置である。選手強化委員会は提出書類一式を精査し、申請が却下された場合は、1月31日（火）までに本人および所属都道府県連盟宛に通知を行なう。国際第三套路のエントリーが却下された選手は、他の組や種目への変更は認めず出場キャンセルとなり、後日登録料・出場料が選手本人に返金される。

B 組	9	総合太極拳	・所属ブロックジュニア普及委員会が選考した選手が出場できる。この種目に出場する選手に限り、2種目目として10.42式太極剣にエントリーできる。※国際大会の日本代表を目指す選手は、2種目目として10.42式太極剣に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。
	11	南拳 (B組)	・所属ブロックジュニア普及委員会が選考した選手が出場できる。この種目に出場する選手に限り、12.南刀(B組)、13.南棍(B組)に、2種目目、3種目目としてエントリーできる。※ただし、国際大会の日本代表を目指す選手は、2種目目として12.南刀(B組)に、3種目目として13.南棍(B組)に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。
	14	長拳 (長拳B)	・所属ブロックジュニア普及委員会が選考もしくはシードを経た選手が出場できる。また、2022年度の国際大会日本代表選手で日本連盟選手強化委員会の推薦を受けた選手も出場できる。この種目に出場する選手に限り、15.長拳B短器械、16.長拳B長器械に、2種目目、3種目目としてエントリーできる。※ただし、国際大会の日本代表を目指す選手は、2種目目として15.長拳短器械に、3種目目として16.長拳長器械に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。
C 組	17	初級長拳	・所属ブロックジュニア普及委員会が選考もしくはシードを経た選手が出場できる。また、2022年度の国際大会日本代表選手で日本連盟選手強化委員会の推薦を受けた選手も出場できる。この種目に出場する選手に限り、18.初級短器械または19.初級長器械に2種目目、3種目目としてエントリーできる。※ただし、国際大会の日本代表を目指す選手は、2種目目として18.初級短器械に、3種目目として19.初級長器械に必ずエントリーしなければならない。また、その他の種目にはエントリーできない。
普及	20	ジュニア 太極拳3	・他の種目との重複エントリーは不可とする。 ・この種目の難度動作が完成していること。

10. 出場申込期限：2023年1月20日（金）※都道府県連盟から日本連盟への提出期限

出場申込書と登録料・出場料を、所属都道府県連盟を通じて上記期日までに日本連盟（東京）に提出すること。
 ※A組の国際第三套路種目（1.～8.）に出場する選手は、所属の都道府県連盟が定めた申込み期限までに、「出場申込書」と併せて、指導コーチおよび所属団体が署名・捺印した「国際第三套路種目エントリー申請書」、「第三套路難度動作確認表」を所属の都道府県連盟に提出し、「確認用動画」を「難度動作確認表」に記載された説明にしたがって日本連盟に提出する。都道府県連盟は所属ブロックのジュニア普及委員会が定めた期限までにブロック枠・シード枠・強化委員会枠の全ての選手について①「出場申込書」の写し、②「エントリー申請書」③「難度動作確認表」を同委員会に提出しなければならない。

所属ブロックのジュニア普及委員会は出場人数枠内で選手を選抜し、所定の「選抜リスト」と各選手の「エントリー申請書」・「難度動作確認表」を2023年1月20日（金）までに日本連盟に郵送、FAXまたはEメールで提出しなければならない（同時に、所属都道府県連盟に選考結果を通知する。選考から外れた選手は、出場キャンセルとなる）。

日本連盟選手強化委員会は提出書類を精査し、出場申請が不承認の選手に対してのみ、1月31日（火）までに、本人、所属都道府県連盟、所属ブロックジュニア普及委員会に通達する。不承認となった選手は、他の組や種目への変更は認めず、出場キャンセルとなり、後日選手本人に登録料・出場料を返金する。

※B組の国際第一套路（長拳B）およびC組の初級套路に出場する選手は、所属の都道府県連盟が定めた申込み期限までに、「出場申込書」を所属の都道府県連盟に提出する。都道府県連盟は所属ブロックのジュニア普及委員会が定めた期限までに、「出場申込書」の写しを同委員会に提出しなければならない。

所属ブロックのジュニア普及委員会は出場人数枠内の選手を選抜し、「選抜リスト」を2023年1月20日（金）までに日本連盟に郵送、FAXまたはEメールで提出しなければならない。

11. 服装規定：選手の服装は原則として自由とする。ただし武術太極拳競技にふさわしい服装とする。
12. 器械の長さ規定：
「武術套路 競賽規則与裁判法（節選）2019」（次項に挙げるルールの中国語版原本）に従って、要綱に定めるように器械の長さ検査を行う。
13. 採点方法：
「2019年版武術套路競技規則（JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技規則）」（日本武術太極拳連盟審判委員会）に基づいて実施する。
14. 表彰：
1） 各種目のエントリー人数に比例して、下表により入賞者を定めて表彰する。
 エントリー選手数：入賞者数
 4人以下　：1位 5～10人　：3位 11～14人　：6位
 15～20人　：8位 21人以上　：12位
 2） 最優秀選手男女各1人に「JOCジュニアオリンピックカップ」を授与する。
15. シード選手：
各種目のシード選手は、選抜種目の入賞者数により下記のとおり定める。
 1） 入賞選手数が4人以上である種目は、1～3位の選手をシード選手とする。
 2） 入賞選手数が3人である種目は、1位の選手のみをシード選手とする。
 3） 入賞選手数が1人または2人までである種目は、シード選手を設けない。
 ※シード選手の出場種目は要綱の出場年齢区分による。また、同一拳種の中で徒手・短器械・長器械の最大3種目に出場することができる。ただし異なる拳種の種目に変更する場合、シード権は失効する。
16. 入場料金：本大会の観覧入場料は無料とする。
17. 日程（予定）：競技開始・終了時間は、出場人数により後日決定する。
 4月21日（金） 10:00～16:00 審判団ミーティング ※選手練習はありません
 4月22日（土） 9:30～10:00 選手練習
 10:15～10:30 開会式
 10:30～17:30 競技
 17:30～18:00 表彰式
 18:00～18:45 選手練習
 4月23日（日） 9:30～10:00 選手練習
 10:15～17:00 競技
 17:00～17:20 表彰式・閉会式
18. 宿舎：各自で宿泊ホテル等を手配すること。主催者は手配を行わない。
19. 個人情報の取り扱いについて：
 参加申込書に記載された個人情報、および主催者又は主催者に認められた報道機関等が撮影した写真・映像については、大会参加者へのサービス向上を目的として、競技の結果、写真・映像の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等で使用される場合があります。
 大会に出場する選手および保護者は、出場申込み時に上記事項について同意の上、ご署名ください。
20. 大会開催中止の際の参加費について：
 大会開催前に中止が決まった場合、日本連盟から都道府県連盟を通して、中止の時期や条件によって登録料および出場料の全額もしくは一部を返金手配する。
 また、その他費用（交通費・宿泊費・通信費・振込手数料等）は、返金対象外とする。

以上

■連絡先（出場申込み先）：公益社団法人 日本武術太極拳連盟
 〒132-0025 東京都江戸川区松江1-9-15
 TEL 03-6231-4911 FAX 03-6231-4955

■主管団体連絡先 : NPO法人 大阪府武術太極拳連盟
 〒555-0012
 大阪市西淀川区御幣島3-14-24
 TEL 06-6478-3003 FAX 06-6478-3005

ひまわりドーム（熊取町立総合体育館）

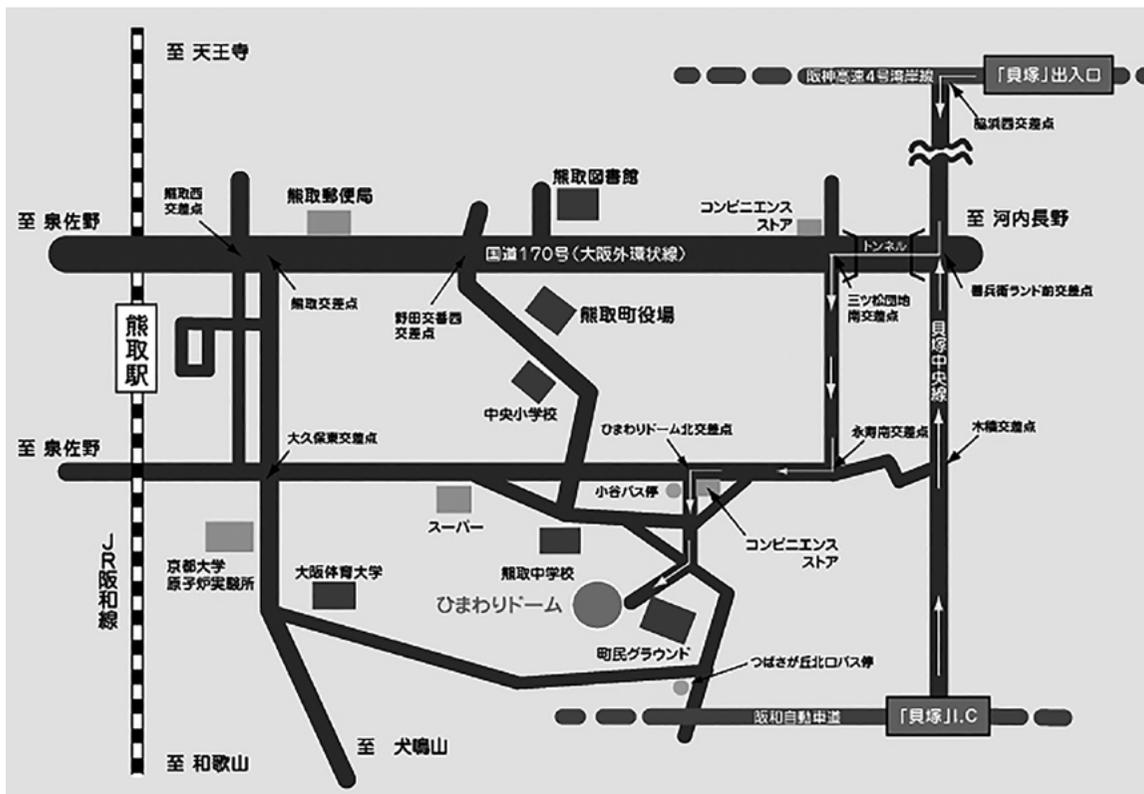
〒590-0441 大阪府泉南郡熊取町久保5丁目3番1号 TEL：072-453-5200

最寄駅JR「熊取」駅まで

- 1) JR「新大阪」から：地下鉄御堂筋線利用「天王寺」駅下車（所要約22分）、JR阪和線に乗り換え「熊取」駅下車（快速所要約34分）。
- 2) 関西空港から：関西空港線「関西快速」利用JR「熊取」駅下車（所要約17分）。
- 3) 伊丹空港（大阪国際空港）から：リムジンバス利用「あべの橋（天王寺）」（所要約30分）下車後、阪和線乗り換え「熊取」駅下車。あるいはリムジンバス利用「関西空港」（所要約70分）下車後、関西快速乗り換え「熊取」駅下車。

JR「熊取」駅からひまわりドームまで

- 1) 路線バス利用「つばさが丘北口」または「小谷」下車（約20～25分）。
- 2) タクシー利用（約10～15分）。

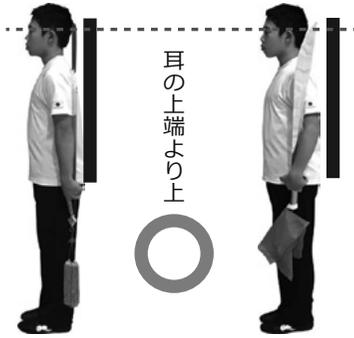


器械の長さ規定

剣術・太極剣・刀術

左手で持剣もしくは抱刀の姿勢をしたときに
 剣先・刀先が耳の上端より短くてはならない。

*剣・抱刀は、腕を自然に伸ばし掌と指で鐔（つば）を支えて持つこと



注意：故意に器械の長さを長く見せる持ち方『柄（グリップ）を持つ』『肘を曲げる』行為は禁止とする

南刀

南刀は左手で抱刀の姿勢をしたとき、刀先が
 下あごより低くてはならない。

*抱刀は、腕を自然に伸ばし掌と指で鐔（つば）を支えて持つこと



槍術

槍は選手が直立して腕を上伸ばしたときの
 床から中指の先端までの長さより低くてはならない。



注意：故意に器械の長さを長く見せる『姿勢』『膝・肘を曲げる』行為は禁止とする

棍術・南棍

棍の長さは選手本人の身長以上であること。



× 禁止行為（例）

長さ検査において故意に器械を長く見せるための持剣・抱刀の持ち方、膝又は肘を曲げる行為は禁止



×



×



×



×



×